

NEWS

初めての海外出張



通常国会が召集され、いよいよ20日から衆議院予算委員会において審議がスタートしました。一方私は国会対応が求められる前原国土交通大臣に代わって、ワシントンDCへ出張することになりました。国会会期中、しかも公務での海外出張は初めてとなります。

ワシントンDCでは日本政府主催の「高速鉄道セミナー」で、前原大臣に代わって主催者としての基調講演を行うのを始め、ラフッド米国運輸長官との会談、日米プレス共同会見、レセプション等々、一泊三日にぎっしりと日程が詰め込まれました。

今回の出張の主たる目的は、主催者代表として基調講演を行うとともに、ラフッド運輸長官など、運輸関係の米国要人と会談することにより、日本の優れた新幹線技術などの米国展開に向けてトップセールスを行うことにあります。基調講演については英語でも日本語でもどちらでも可能ということだったので、事務方にどちらが望ましいか確認したところ、英語の方が現地の方に響くということで英語でのスピーチとなりました。米国在住の経験はありますが、久しぶりの英語で少々緊張しました。

◆米国の鉄道事情

米国における鉄道の路線長は約22万5500km(このうち旅客の使用は3万6000km)で世界最長です。ちなみに日本は総計約2万7000kmです。路線長だけで考えれば米国は日本の8倍以上です。しかし旅客について見ると立場は逆転します。年間の旅客輸送量について見ると米国は504億人キロ(※)、日本は2420億人キロで5倍近い輸送量

があるのです。旅客における鉄道の分担率は日本は約32.8%、米国は0.9%に過ぎません。

これまで米国は、移動手段として自動車中心であったわけですが、オバマ大統領が昨年2月、高速鉄道実現のために80億ドル支出することを決定しました。さらに今後5年間で50億ドルを支出する本年度の予算教書概要を発表し、米国議会でもさらなる予算について議論がなされています。米国において鉄道への関心が高まっているのです。(※人キロ・・・旅客の人数とその旅客を輸送した距離を掛け合わせた旅客輸送量を表す単位)

◆日本の成長戦略

そこで今回の日本政府、JR各社、商社、重電、車輛などのメーカー併せてのセミナー開催は、米国にとり、高速鉄道の整備が雇用創出、経済発展に大きく寄与する施策であるということの効果的にアピールできる大切な場となります。私より一足早く18日から同じ国交省の長安政務官がブラジルを訪問しています。ブラジルでは現在、高速鉄道の整備が計画されていますが、その入札が間近に迫る中、日本企業の海外進出をサポートする官民ミッションの政府代表としての参加です。

今、世界各国で高速鉄道プロジェクトが進行中です。米国だけでなくイギリス、中国、ロシア、インド、ブラジル、ASEAN諸国などです。これらプロジェクトへの関与はインフラ産業の海外展開として、日本の成長戦略上、非常に重要な意味があります。(了)

まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年間寄付金(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742(40)5531

「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」
 （政治資金管理団体に同じ）
 会費：年間寄付金（一口）10,000円
 会期：一年間（政治献金）



◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様が一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年間寄付金（政治献金）で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

入会のお申込、詳しいお問い合わせは

まぶちすみお後援会事務所

TEL 0742 (40) 5531 までお願いいたします。

スタッフ日記

2010年新年を迎え

年末年始、新年度予算(案)が越年せずに閣議決定されたおかげで、代議士は地元に戻る事ができた。

国土交通副大臣に任命され3ヶ月余りの間、奈良に帰ってもわずか1、2時間でとんぼ返りで、自宅に帰ったのはわずか3日、補正予算の組み替え、22年度予算の編成、政府税制調査会など分刻みで仕事をこなしてきた。多少は家族とのんびり、そして鋭気を養ってほしいと思っていたが、事務所に入るなり「年末年始は例年通り」との指示が飛ぶ。そう言えば去年は野党の予算委員として最後の質疑になるかもしれないし、年始早々の通常国会の召集もあるから、と議員会館泊まり込みの合宿生活、東京での年越しだった。やはり地元が気になるのだろう。

ご無沙汰している方々への

ご挨拶、消防団の年末警戒への激励、大晦日の23:30全員集合の初詣は元旦朝まで続く。

それでも次々にご支援頂いている方々の顔が浮かび、益々元気な代議士の姿を一目見て頂きたいと思う。そして2日は勝負の神様・信貴山毘沙門天へ改めて常勝を祈願。護摩木に願いを込め年齢を記入しようと昭和26年のところを見ると、数え年60歳とある。「ええ～還暦?じいと呼ばれてもしょうがないか」お正月早々変なところで納得する。4日の朝は久々の学園前駅頭での朝立ち。「おめでとうございます」「久しぶりですね」の声が飛び交った。自然と代議士の顔が微笑んでいる。

そして上京。また帰ってきた時のあの厳しい顔に戻るのだろうか?毎日が勝負、この国の未来のために。(ｽｷﾞ)

週間活動報告

- 16 土 在京当番、民主党大会、支持者会合
- 17 日 墓参り、アメリカ出張準備、親父拳骨の会新年会
- 18 月 レク（総合政策局）、代議士会、本会議、開会式、第26回税制調査会及び意見交換会、定例記者会見、記者懇談会、【講演】インド国カマル・ナート道路交通大臣レセプション
- 19 火 レク（総合政策局）、色紙揮毫、本会議、道路局打合せ
- 20 水 レク（総合海洋政策本部）、ドットJPインターン面接、政務三役懇談会、アメリカ出張準備、国交省奈良県ゆかりの会
- 21 木 米ワシントンへ、【講演】高速鉄道セミナー、ラフッド米運輸長官会談、日米共同プレス会見、セミナーレセプション
- 22 金 （日付変更線をまたぐ関係で飛行機内）

衆議院
議員

馬淵澄夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
 衆議院 第1 議員会館 437号室
 TEL 03(3508)7137 FAX 03(3506)3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会（まぶち会）
 〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
 TEL 0742(40)5531 FAX 0742(40)5532